

## 事業所における自己評価結果

公表日： 2019/3/1

事業所名 ことり園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3	限られたスペースですが、子ども達の動線を考え、プログラム進行で使うホワイトボードなどを可動式にするなどの対応をしています。	今後も子ども達の状況に合わせて工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切である	10		一対一ですが、指導員が子ども達の視界を遮らないようになるべく子ども達に合わせた高さで支援しています。	今日も日々丁寧に支援していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1	子ども達が活動に集中できるように、展示物を極力減らし、活動中視界に入らない場所に貼るなど工夫しています。	子ども達がより過ごしやすいように工夫していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	子ども達が気持ちよく過ごせるよう日々心掛けています。	今後も清潔と安全を心掛けていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			保護者の皆さんの意見を真摯に受け止め、より良い園になるよう努力します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			様々な意見をいただきありがたいです。結果をもとに会報やホームページに公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		外部評価の機会を設けるように検討していきます
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	事務室に支援に役立つような本を常に置いてあり、読めるようにしてあります。	園に届く研修の情報を皆さんにわかりやすく開示していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1	モニタリングに同席したり、お迎えの際にお話する時間を設けたり、アンケートなどでニーズの確認をしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	保護者の方から発達検査などの結果を伺い、それを日々の支援に役立てています。	現在標準化されたものは使っていませんが、今後ツールの導入も検討していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11		支援開始前に支援計画や前回の様子を確認してから、支援にあたるようにしています。	支援計画の確認を徹底し、よりよい支援につなげていきます。

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		ミーティングや日々の反省会でアイデアを出し合っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		季節に合わせた活動を心掛けています。また動と静をバランス良く取り入れるようにしています。	今後も子ども達が充実した過ごしができるように配慮していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	9		職員間で話し合い見直すことで様々な活動を取り入れられるようにしています。	今後も子ども達の成長につながるような支援計画を立て支援していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		プログラムの中で担当を決めて受け持ってもらっています。	細かい所まで確認し、スムーズに支援できるように配慮していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		3分ミーティング(いつも長くなりますが)をして振り返っています。	今後も必ず記録に残し、支援に役立てていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		日々の出来事の中で重要なことは別紙に書きとめ、指導員が確認しやすいようにしています。	より良い支援につながるよう、記録を確認し生かしていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		相談支援員とのモニタリングに必ず参加し、保護者の方と情報を共有しています。	モニタリングで得た情報をもとに計画を見直し、成長を促せるよう配慮していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		会議がある場合には必ず参加しています。	今後も会議には積極的に参加し情報を共有していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	お会いする機会が少ないのですが、相談支援員を介するなどして情報をもたらしています。	今後、会議等があれば積極的に参加し連携を深めていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	2	医療機関を受診した場合には、保護者の方から情報をいただいています。また訪問看護師、PT、OTからの情報もいただいています。	今後、もっと密に情報交換ができるよう、関係各位と連絡を取っていきたく思います。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	直接連絡をとることは現在していません。お母様から情報をいただいています。	今後必要に応じて連絡をとっていきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		保育所等訪問や行事の見学を通して情報の共有をしています。	今後もっと密に情報共有できるように配慮していきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	長期休暇の支援学校の先生方の研修を受け入れるなどして情報の共有をしています。また、就学後の情報交換会にも参加しています。	学校説明会、学校公開などにもっと参加していこうと思います。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	不定期ですが支援センター、ST、臨床心理士に来ていただき、助言をもらっています。	今後、STや臨床心理士の方に研修をしてもらったり、お母様方と話す機会を設けていきたいと思っています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5	残念ながら現在交流はありません。ごくたまに公園で一緒に遊び遊ぶことはあります。	今後、近隣の幼稚園、保育園と連絡をとり、積極的に交流できればと考えています。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	6		過去参加したことはありますが、今後もそのような機会があれば積極的に参加していきます。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	11		連絡帳と日々のお迎えの際の会話で理解できるよう心掛けています。	今後も保護者の方と協力してよりよい支援をしていく所存です。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	3	お迎えの際、アドバイスできることがあればお話しています。	改めてペアレントトレーニングとして行っはけませんので、今後指導員も研修をし、積極的に行えたらと思います。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約の際、丁寧な説明を心掛けています。	今後もわかりやすく伝えられるよう配慮してまいります。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		日々の活動の報告をかねて、お迎え時にお話する時間をとり保護者の方々と連携してやっていけるよう努力しています。	丁寧に説明し、保護者の方々に同意を得てよりよい支援につなげてまいります。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	2	日々の送迎の際、対応しています。支援計画のアンケートの際、園への相談・意見等を記入する欄も設けています。	相談しやすい雰囲気づくりをしていきます。また保護者会等を開催し、相談できる時間と場所を設けられるよう検討します。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	3	親子参加の行事を年に2～3回催し、保護者同士の交流をはかっています。	今後保護者会の開催も検討していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		日々の送迎の際、声をかけていただき時間をとっています。また電話などで対応していきます。	いつでも気軽に声を掛けて下さい。また相談しやすいよう相談日を設けるなどの工夫をしていきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		会報や手紙で園の様子や行事のお知らせをしています。	会報を増やしたり1ヵ月分の予定を掲示するなどして、情報がいち早く伝わるよう配慮してまいります。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	11			今後も個人情報保護法に則り、十分に注意して取り扱ってまいります。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		園で使っているマコトサインの講習をしたり、冊子などを希望に応じて配布しています。プログラム内で行っている手遊び、歌などを掲示し、保護者の方と共有しています。	今後も情報伝達のための配慮をしていきます。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	地域の方を招くことはありませんが、あいさつを徹底したり、行事の際、車の出入りが頻繁なことを近隣の方々に承諾してもらうためあいさつに行っています。	今後地域の方々と触れ合える活動を考えていきたいと思ひます。
	非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2	防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは現在ありませんが、緊急時のマニュアルはあります。園内に掲示してありますが、周知は足りなかったと思います。
④③		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	東公民館への誘導訓練の他、中で行っているシェイクアウト訓練の防災放送を利用して行っています。	今後も定期的に行い、保護者の方にお知らせしていきます。
④④		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	入園時と、その後年に1回情報カードを書いていただいています。その中で飲んでる薬や発作等記入していただいています。	予防接種など確認していない項目もあるので、今後内容を精査し、確認していきます。
④⑤		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	アレルギーがある場合には情報登録カードに記入していただいています。後からわかった場合には、こちらで書き加えています。	保護者の方からの情報をもとに対応していますが、今後必要に応じて医師の指示書を用意してもらうなど検討していきます。
④⑥		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		事例を記入しファイルするとともに、ミーティングの際、前月の事例を報告し、改善策を提案してもらっています。また、個人のファイルの中にも重要事項として記載し確認してもらっています。	今後も事故などないよう、気をつけていきます。またヒヤリハットの事例をもとに同様なことが起きないように努めます。

④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	指導員同士が話しやすい、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。	研修の機会は少ないかと思しますので、今後増やしていけたらと思います。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	ベビーカー、座位保持椅子使用時には安全確保のためベルトを装着しており、支援計画に記載しています。	極力身体拘束せずに過ごせるよう配慮するとともに十分な説明をしています。